

# 東京文化戦略2030

## 3か年のアクションプラン(2024 - 2026)

令和6年（2024年）3月

生活文化スポーツ局

## 目次

「戦略」と戦略実行のための「推進プロジェクト」（体系図） .....	3
戦略1 人々のウェルビーイングの実現に貢献する .....	4
戦略2 人々をインスパイアする .....	33
戦略3 芸術文化のハブ機能を強化する .....	51
戦略4 持続性のある芸術文化エコシステムを構築する .....	63

# 「東京文化戦略2030アクションプラン」とは

- 東京都は、2022年度から2030年度までの間における東京都の文化行政の方向性や重点施策を示した「東京文化戦略2030」（以下「文化戦略」という。）を2022年3月に策定しました。
- この文化戦略では、2040年代における東京のあるべき姿（将来像）を描き、その実現に向けた4つの戦略及び10の推進プロジェクトを位置づけています。
- この推進プロジェクトに基づき、**東京都、東京都歴史文化財団及び東京都交響楽団が重点的に実施する事業の3か年計画を定めたものが「東京文化戦略2030アクションプラン」（以下「本アクションプラン」という）**です。
- 2030年に向け、本アクションプランに記載する各事業を着実に進めることで、文化戦略が目指す将来像の実現を図っていきます。
- なお、本アクションプランは2024年3月時点で想定している内容であり、事業の進捗や社会経済情勢等の状況を踏まえ、毎年度更新する計画です。

# 4つの「戦略」 及び 10の「推進プロジェクト」 (体系図)

**戦略1** 誰もが芸術文化に身近に触れられる環境を整え、  
人々の幸せに寄与する



～人々の**ウェルビーイング**の実現に貢献する～

プロジェクト1

地域活性化プロジェクト (芸術文化の敷居を低くする取組)

プロジェクト2

だれもが文化でつながるプロジェクト

プロジェクト3

キッズ・ユース (Kids and Youth) ・プロジェクト

**戦略2** 芸術文化の力で、人々に喜び、感動、新たな  
価値の発見をもたらす



～人々を**インスパイア**する～

プロジェクト4

スマート・カルチャー・プロジェクト(デジタルテクノロジーを活用する取組)

プロジェクト5

「アートのある生活」プロジェクト

プロジェクト6

アート&エンターテインメント・プロジェクト

**戦略3** 国内外のアートシーンの中心として、世界を  
魅了する創造性を生み出す



～芸術文化の**ハブ**機能を強化する～

プロジェクト7

アート・ハブ (Art Hub) ・プロジェクト

プロジェクト8

海外発信プロジェクト

**戦略4** アーティストや芸術文化団体等が継続的に  
活動できる仕組みをつくる



～持続性のある芸術文化**エコシステム**を構築する～

プロジェクト9

アーティスト・ステップアップ・プロジェクト

プロジェクト10

担い手育成・支援&創作環境向上プロジェクト

# 戦略 1

人々のウェルビーイングの実現に貢献する

# プロジェクト1

## 地域活性化プロジェクト

1-1 東京大茶会

1-2 伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル～

1-3 ヘブンアーティスト

1-4 大人のための伝統文化・芸能体験事業

1-5 地域で芸術文化に親しめる環境創出事業

1-6 地域芸術文化活動応援助成

1-7 伝統芸能体験活動助成

1-8 アート・カルチャー体験100

1-9 工事現場をキャンバスとした東京都の新たな魅力創出プロジェクト

(再掲) 6-7 ベイエリアにおける芸術文化イベント

# 1 - 1 東京大茶会

## 【事業概要】

様々な流派による伝統的な茶席や野点のほか、親子で体験できる茶道教室、英語で解説をする茶席や野点、日本の伝統文化を楽しむワークショップやパフォーマンスなどによる大規模な茶会を江戸東京たてもの園及び浜離宮恩賜庭園で開催し、誰でも気軽に茶会に参加できる機会を提供する。

## 【3年後の目標】

地域の団体と連携を行い、伝統文化に触れる機会がなかった人々にも参加、体験する機会を提供し、さらなる普及を図る。担い手の減少等により衰退の危機にある伝統文化について、その魅力を発信するとともに、子供や若者が体験や参加することにより、次世代へ継承するきっかけを作る。

## 【2023年度実績】

浜離宮恩賜庭園（10月14日、15日）及び江戸東京たてもの園（10月21日、22日）で東京大茶会を開催

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
東京大茶会	開催準備 → ★ ★ 事業の 開催（秋ごろ） （江戸東京たてもの園 及び浜離宮恩賜庭園） 評価・検証	事業の評価・検証を反映し運用	

**【事業概要】**

多摩地域が保有する地域の文化資源を活用して、まちなかでの演奏会や屋外ステージを舞台にした本格的な公演などをフェスティバルとして実施し、多彩な伝統文化・芸能の魅力を発信する。

**【3年後の目標】**

より多くの多摩地域の市町村と連携・協力体制を構築し、街なかに様々な伝統文化が集う多彩なフェスティバルに発展させる。伝統文化に馴染みのない方々も気軽に親しめる多様なプログラムにより、伝統文化の鑑賞・参加機会を提供するとともに、若手実演家へ活躍機会を設けるなど、地域に根差している伝統芸能を次世代へ継承するきっかけを作る。

**【2023年度実績】**

多摩地域の文化資源を活用して伝統文化・芸能に馴染みのない人々も気軽に親しめるフェスティバルを開催

日時：11月4日、5日

会場：JR八王子駅北口（西放射線ユーロード）、中町公園ほか

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェ スティバル～	開催準備 → 開催（秋ごろ） ★ ★ 事業の 評価・検証	 事業の評価・検証を反映し運用	



# 1 - 3 ヘブンアーティスト

## 【事業概要】

都が審査・選定し、ライセンスを発行したアーティストに、都立公園や都内民間施設などの公共空間を活動場所として開放することで、都民や東京都を訪れた方が気軽に芸術文化に触れる機会を提供するとともに、アーティストの技芸研鑽の場を確保し、新たな文化創造支援と東京の魅力発信を図る。

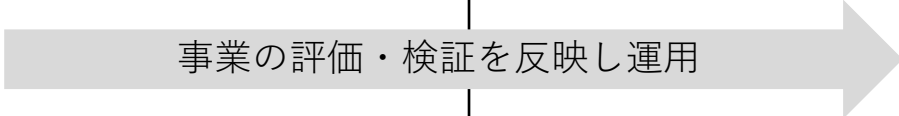
(登録アーティスト：パフォーマンス部門389組、音楽部門101組 2023年12月末時点)

## 【3年後の目標】

都民や東京都を訪れる方に身近な場所で文化に親しむ機会を提供するとともに、上野恩賜公園などで大規模なイベントを実施することにより、アーティストに創造し表現する場を提供している。

## 【2023年度実績】

- ・ 都内54施設73カ所を活動場所として開放。まちなかでのパフォーマンスを通じて気軽に芸術文化に触れる機会を提供
- ・ 10月27日(金)～29日(日)に上野恩賜公園でヘブンアーティストTOKYO 2023を開催。約130組のアーティストが一堂に会し、パフォーマンスを披露。(3日間の観客数：約15,000人)
- ・ 11月20日(月)～22日(水)に公開審査会を実施。応募アーティスト173組のうち26組が合格しヘブンアーティストとして登録(パフォーマンス部門22組、音楽部門4組)

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
ヘブンアーティスト	主催・共催イベント (年4回)		
	★ ヘブンアーティスト TOKYO (10月) 審査会の実施、 関係機関との連絡調整		
	★ 事業の 評価・検証		

## 1-4 大人のための伝統文化・芸能体験事業

### 【事業概要】

伝統文化・芸能を1日で体感できるプログラム（専門家等による講演、プロの実演家等による体験指導と実演から構成）を開催。伝統文化・芸能の様々なジャンルについて、その魅力を学び、体験する機会を提供するとともに、オンラインで国内外に発信する。

### 【3年後の目標】

現役世代の大人を中心に、気軽に楽しむことができる体験や鑑賞の機会を提供するとともに、担い手となる団体及び若手実演家等の活躍の場を創出することで伝統文化・芸能の裾野を広げる。合わせて、体験した多くの都民が、事後、地元の教室に通うなど、身近で伝統芸能等を習得できるような好循環を生みだす。

### 【2023年度の実績】

- ・ 伝統芸能の魅力と奥深さを再認識する機会を創出するため、伝統芸能の講演、体験と鑑賞をセットにしたプログラムを4回実施  
（第1回）日時：10月1日(日) 会場：立川市女性総合センター【日本舞踊と尺八】  
（第2回）日時：11月11日(土) 会場：芸能花伝舎【落語と寄席文字】  
（第3回）日時：1月8日(月祝) 会場：鍔仙会能楽研修所【能と狂言】  
（第4回）日時：1月28日(日) 会場：江東区文化センター【長唄といけばな】
- ・ 講演と実演についての映像を作成し、アーカイブとして国内外へ発信（令和6年2月より順次）

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
大人のための伝統文化・芸能体験事業	講演・体験・実演鑑賞 年間4回 ★ 事業の 評価・検証	事業の評価・検証を反映し運用	

# 1 - 5 地域で芸術文化に親しめる環境創出事業

## 【事業概要】

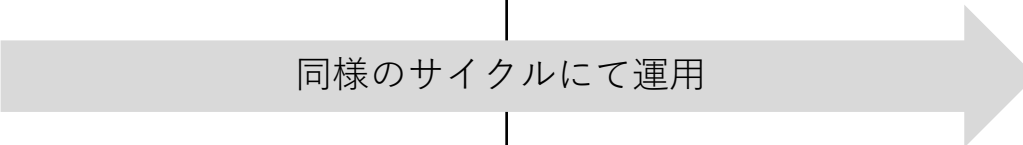

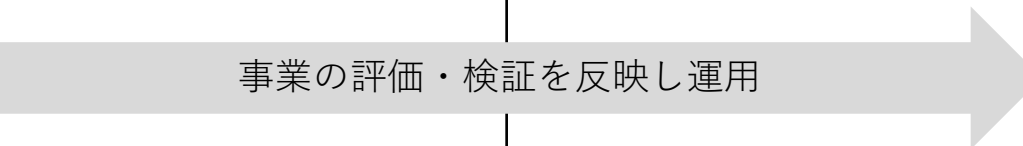
地域のニーズや課題に即した文化イベントやアートプロジェクトを都と地元自治体やNPOが連携して展開することで、都民が気軽に芸術文化に触れる機会を創出や、地域における文化事業の担い手となる区市町村の企画実施力の向上を目指す。

## 【3年後の目標】

都内区市町村で様々な文化事業が行われ、地域住民が身近なところで文化に触れやすい環境が都内各所に広がっている。

## 【2023年度の実績】

- ・東京都・区市町村連携事業：3区市と実施。羽村市(2023年7月)、青梅市(2023年10月・12月)、江戸川区(2024年2月)
- ・東京アートポイント計画：まちなかななどでアートに触れる機会を創出するため、アーティストと市民が協働するアートプロジェクトを8件実施  
手話講座などを通年で実施したほか、運営や技術に関わる映像講座を16本制作
- ・東京都・区市町村文化行政ネットワーク会議：2回開催（2023年6~7月、2023年12月）
- ・区市町村等職員向け文化行政講座：3回実施（2023年6月、12月、2024年3月）

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
東京都・区市町村文化行政ネットワーク会議	<p>★ 第1回 (春頃)</p> <p>★ 第2回 (秋頃)</p>	同様のサイクルにて運用 	
区市町村等職員向け講座	<p>実施（3回程度） </p> <p>★ 事業の 評価・検証</p>	事業の評価・検証を反映し運用 	

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
東京都・区市町村連携事業	<p>事業実施 →</p> <p>次年度調整 →</p> <p>★ 事業の 評価・検証</p>	<p>事業の評価・検証を反映し運用 →</p>	
拠点形成事業 (東京アートポイント計画)	<p>アートプロジェクト実施 →</p> <p>環境整備事業 →</p> <p>★ 事業の 評価・検証</p>	<p>事業の評価・検証を反映し運用 →</p>	

# 1 - 6 地域芸術文化活動応援助成

## 【事業概要】

都内の各地域の特色ある文化の醸成・発展を促進する芸術文化活動や、都内の各地域の文化財や文化資源を未来に向けて継承し、その魅力を地域内外に広く発信する取組を支援する。

## 【3年後の目標】

都内の無形民俗文化財の公開活動や有形文化財を活用した事業、地域の文化資源を活用する事業や文化的魅力を高める事業を支援することで、各地域の振興に寄与している。

## 【2023年度の実績】 地域芸術文化活動応援助成を3回実施

助成上限額：50万円(区分1)、200万円(区分2)

助成率：1/2

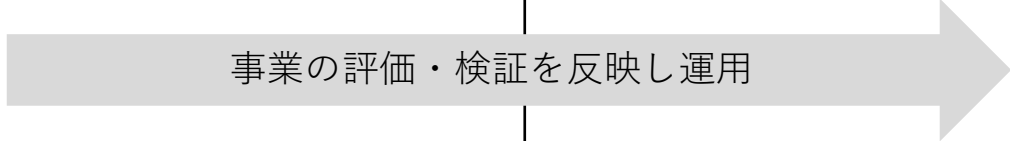
申請受付：【第1期】3月24日(金)～4月24日(月)

【第2期】6月30日(金)～7月28日(金)

【第3期】11月20日(月)～12月20日(水)

採択(申請)件数：【第1期】23(90)件、【第2期】26(48)件、【第3期】未定

※上限金額・対象分野を拡充するなどの見直しを行い、従来の東京地域芸術文化助成を再構築

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
地域芸術文化活動応援助成	公募・助成（年2回予定） 助成事業の実施  ★ 事業の 評価・検証		

## 1 - 7 伝統芸能体験活動助成

### 【事業概要】

伝統芸能のさまざまな種目について、初めての人でも入り易く、かつ継続的に自ら実技体験ができる事業を助成する。

### 【3年後の目標】

初心者でも継続的に実技体験ができる事業を支援することで、伝統芸能の振興に寄与している。

**【2023年度の実績】** 伝統芸能体験活動助成を実施  
助成上限額：100万円  
助成率：1/2  
申請受付：3月1日(水)～5月8日(月)  
採択(申請)件数：14(26)件

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
伝統芸能体験活動 助成	公募・助成（年1回） 助成事業の実施 対象種目拡充（華道・ 茶道・書道を追加）	事業の評価・検証を反映し運用	
	★ 事業の 評価・検証		

# 1 - 8 アート・カルチャー体験100

## 【事業概要】

都立文化施設の体験型事業（1日～短期、通年実施プログラム、オンラインプログラム）の情報を集約し、ウェブサイトで発信することにより、都民が芸術文化を気軽に体験できるようにする。

## 【3年後の目標】

正確・タイムリーな情報を分かりやすく発信することにより、芸術文化体験の機会の創出に寄与する。

## 【2023年度の実績】

PV数：3,964PV（2023年4月1日～2024年1月25日現在）

新規公開件数：433件（2023年4月1日～2024年1月25日現在）

広報・閲覧数増加施策の検討体制の整備

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
アートカルチャー体験100		運用	
	広報施策の検討	広報施策の実施	

※歴史文化財団自主事業

## 1-9 工事現場をキャンバスとした東京の新たな魅力創出プロジェクト

### 【事業概要】


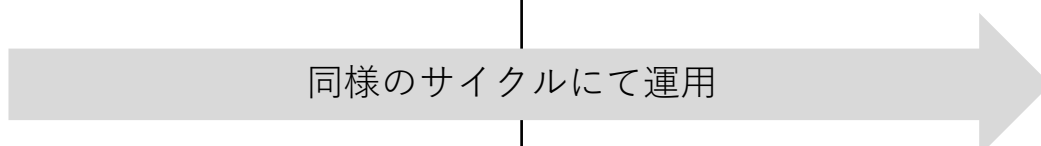
工事現場の仮囲い等をキャンバスに見立てたアートプロジェクトの展開を通じて、誰もが身近にアートを楽しむ環境創出やアーティストの活動領域の拡大を推進

### 【3年後の目標】

東京の様々なところで都市の余白を生かしたアート掲出事業が行われている。

### 【2023年度実績】

※ 2024年度新規事業

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
アートプロジェクト	都や民間の施設などで 7か所程度実施 	 同様のサイクルにて運用	



# プロジェクト 2

## だれもが文化でつながるプロジェクト

- 2-1 クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー
- 2-2 アール・ブリュット
- 2-3 芸術文化による社会支援助成
- 2-4 芸術文化へのアクセシビリティ向上
- 2-5 世界陸上・デフリンピックに向けたアートプロジェクト

## 2-1 クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー

### 【事業概要】

芸術文化の力や都立文化施設の資源を活用し、高齢化や共生社会など東京の社会課題の解決に取り組むため、芸術文化による社会包摂とウェルビーイングを推進する。また、誰もが芸術文化を楽しめるように、文化施設・事業のアクセシビリティを向上させる情報保障ツールやサポートの先進的かつ質を高める取組を検証・展開する。







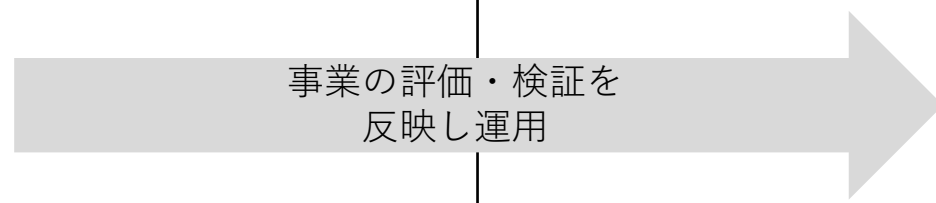
### 【3年後の目標】

国際カンファレンス等の開催を通じて東京の先進的な取組や成果を発信し国内外の都市へ横展開されている。

また、文化施設・事業のアクセシビリティ向上により、あらゆる人が芸術文化を楽しむ環境となっている。

### 【2023年度の実績】

- ・「だれもが文化でつながるサマーセッション2023」を開催〔2023年7月29日（土）～2023年8月6日（日）〕
- ・都立文化施設の各館において、インクルーシブプログラム・少子高齢化対応プログラム・多文化共生プログラムを実施
- ・TURN LAND プログラムを都内(区部・多摩)で実施（11件）

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
だれもが文化でつながる国際会議	国際カンファレンス開催  国際会議にあわせた国内キャンペーンと国際広報、国内外都市とのネットワーク構築 	国内中心のシンポジウムを開催 	国際カンファレンス開催 
高齢者、障害者、外国人、乳幼児等を対象としたアクセスポログラムの実施	取組の成果を国際会議で国内外に発信・共有  事業の評価・検証 ★ プログラムの実施 	事業の評価・検証を反映し運用 	

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
他分野連携プログラム（TURN LAND プログラム）の実施	TURN LAND 実施体制の構築、プログラム実施、プレLANDからの移行施設・団体検討		
	プレLAND 実施体制の構築、プログラム実施、参加団体、アーティスト等の調査及びマッチング		

※TURN LAND プログラムは福祉事業所・施設や社会的支援を行う団体がアーティストとともにアートプロジェクトを企画し、実践するプログラムです。プロジェクトの実践を通して多様な価値観や特性への理解を深めながら、より魅力的な活動を日常の中に生み出します。

## 2-2 アール・ブリュット

### 【事業概要】

アール・ブリュット(※)を含む様々な作品、作家とその背景を通じた展示等により、人々が多様な創造性に触れ、新たな価値の発見につながる機会を創出する。

※アール・ブリュット (Art Brut) は、フランスの芸術家ジャン・デュビュッフェによって提唱されたことば。今日では、広く、専門的な美術の教育を受けていない人などによる、独自の発想や表現方法が注目されるアートを表す。

### 【3年後の目標】

拠点（渋谷公園通りギャラリー）での展覧会や拠点外での展示等が実施されることにより、都民等がアール・ブリュット等の作品に触れる機会が増加している。

### 【2023年度の実績】

渋谷公園通りギャラリーでの展覧会に加え、区市町村等と連携した展示等を実施

- (1) すみだリバーサイドホールギャラリー（展覧会）9月24日（日）から10月4日（水）まで
- (2) たましんRISURUホール（立川市市民会館）展示室（展覧会） 1月24日（水）から2月7日（水）まで
- (3) プリモホールゆとろぎ（羽村市生涯学習センター）展示室（出張イベント） 11月26日(日)

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
拠点での展示事業等	拠点で年4回の展覧会を開催 ★ 事業の評価・検証		
拠点外での展示事業等	都内で区市町村等と連携した展示等を実施（1～2か所） ★ 事業の評価・検証		

## 2 - 3 芸術文化による社会支援助成

### 【事業概要】

さまざまな社会環境にある人が共に参加し、個性を尊重し合いながら創造性を発揮することのできる芸術活動や、芸術文化の特性を活かし社会や都市のさまざまな課題に取り組む活動を支援する。

### 【3年後の目標】

障害の有無や年齢等を問わず、あらゆる人が芸術文化を享受できる環境の整備に寄与している。

### 【2023年度の実績】 芸術文化による社会支援助成を2回実施

助成上限額：200万円

助成率：2/3

申請受付：【第1期】1月27日(金)～3月7日(火)、【第2期】6月30日(金)～8月1日(火)

採択(申請)件数：【第1期】11(59)件、【第2期】10(21)件

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
芸術文化による社会支援助成	公募・助成（年2回） 助成事業の実施  ★ 事業の 評価・検証		

## 2-4 芸術文化へのアクセシビリティ向上

### 【事業概要】

都立文化施設において、手話通訳をはじめとした公演の鑑賞等を支援する環境整備の推進や、民間事業に対する鑑賞サポート費の助成等を実施。

### 【3年後の目標】

- ・鑑賞サポートの提供が社会全体で増加するとともに、ノウハウの蓄積や人材育成などが進み、継続的な取組に向けた土台が構築

### 【2023年度の実績】

2024年度新規事業

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
アクセシビリティ向上	鑑賞を支援する環境整備 助成関連事業の開始 取組や成果の周知・発信		事業の評価・検証を反映し運用

**【事業概要】**


大会の気運醸成や芸術文化の魅力発信、共生社会の実現に向け、「まつり」や「聴覚障害者にとっての音楽」などをテーマにした3つのアートプロジェクトを2024年度から段階的に展開。

**【3年後の目標】**

・芸術文化へ親しみを持つ人が増加するとともに、障害のあるなしに関わらない芸術文化活動の実施事例が蓄積している。

**【2023年度の実績】**

2025年の両大会を通じて取り組んでいく方向性や、主な内容などをまとめた「ビジョン2025 アクションブック」において、誰もが芸術文化に触れることができるよう、アートプロジェクトの展開を実施する旨を記載

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
アートプロジェクト	実施内容の調整やPRなど	 イベントの開催 「まつり」は9月 その他は11月予定	

# プロジェクト 3

## キッズ・ユース（Kids and Youth）プロジェクト

3-1 キッズ伝統芸能体験

3-2 子どものための伝統文化・芸能体験事業

3-3 パフォーマンスキッズ・トーキョー

3-4 Shibuya StreetDance Week

3-5 TACTフェスティバル

3-6 Music Program TOKYO（ミュージックワークショップ他）

3-7 Museum Start あいうえの

3-8 ウェルカムユース

3-9 若年層が主体的に芸術文化を体験する取組



## 3-1 キッズ伝統芸能体験

### 【事業概要】

伝統芸能のプロの実演家が、本格的な稽古場で子供たちに直接指導を行い、その成果を本物の舞台上で発表することにより、伝統芸能の世界が培ってきた礼儀作法や厳しさなどを体験できる学びの場を提供する。本格的な伝統芸能の体験を通じて、伝統芸能に対する興味・関心を高める。

### 【3年後の目標】

多摩地域等での開催を増やし、受講の機会を拡大するとともに、キッズ向けのプログラムを定期的かつ継続的に実施することにより、子供たちが伝統芸能をはじめ、日本の文化への興味を抱き、ファンとなるなど、次世代へ継承するきっかけを作る。

### 【2023年度の実績】

〔小中高生向けのスタンダードプログラム〕

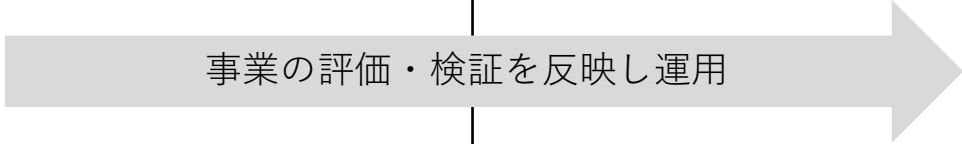
きめ細かい16回の稽古でじっくりと取り組むプログラムを13コース実施

会場：芸能花伝舎（新宿区）、梅若能楽学院会館（中野区）、東村山市立中央公民館（東村山市）ほか全8か所

〔中高生向けのユースプログラム〕

内容の濃い10回の稽古で集中的に取り組むプログラムを3コース実施

会場：芸能花伝舎（新宿区）、新宿区立大久保スポーツプラザ（新宿区）

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
キッズ伝統芸能体験	募集等 → 稽古 → 発表(3月) ★ 都内区市町村文化施設、能楽堂(予定) ★ 事業の 評価・検証		

## 3-2 子供のための伝統文化・芸能体験事業

### 【事業概要】

子供たちに対し、伝統芸能の実演家や職人を講師とする体験・鑑賞プログラムを、身近な学校という場で実施する。体験を通じて、日本文化の価値に対する理解を深め、多様な文化に対する幅広い知識を育む。

### 【3年後の目標】

子供たちへ伝統芸能における鑑賞・参加機会を提供することにより、子供たちが伝統芸能をはじめ、日本の文化への興味を抱き、ファンになるなど、次世代へ継承するきっかけを作る。

### 【2023年度の実績】

都内(区部・多摩・島しょ部) でプログラムを実施

開催時期：2023年6月～2024年3月

開催場所：小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
子供のための伝統文化・芸能体験事業	実施準備 → 事業実施 ★ 事業の 評価・検証		

### 3-3 パフォーマンススキッズ・トーキョー

#### 【事業概要】

ダンスや演劇、音楽などの分野で活動するプロのアーティストを、都内の小中学校・特別支援学校やホール、文化施設、児童養護施設等に派遣し、10日間程度のワークショップを行い、子供たちが主役のオリジナルの舞台作品を作り上げる。最後に発表公演を行い、子供たちの保護者をはじめ地域や教育・文化各方面の多くの人たちにワークショップの成果を発信する。

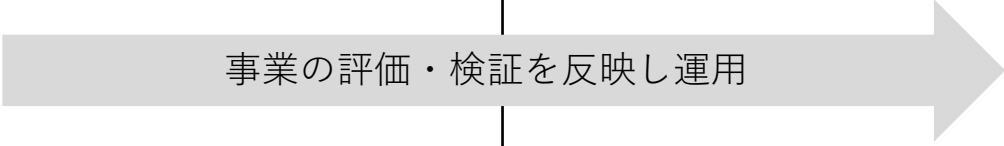
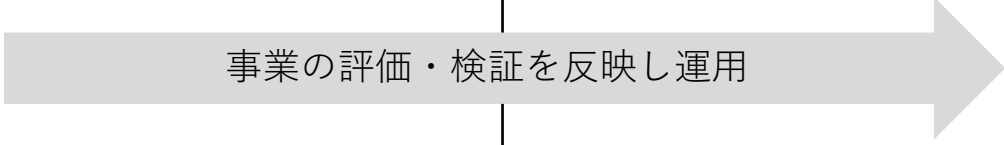
#### 【3年後の目標】

子供たちへ良質なダンス、演劇、音楽等の芸術文化に触れられる機会を提供し、アーティストと共に舞台作品を作り上げることによって、子供たちの創造性や自主性、コミュニケーション能力、チャレンジする力、発想力等が育ち、親子で芸能文化の価値に対する理解が深まっている。

#### 【2023年度の実績】

都内（区部・多摩・島しょ部）で実施

開催件数：学校（21件）・文化施設（5件）・児童養護施設等（3件）

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
都内学校・特別支援学校でのワークショップ	<p>【子供】練習参加 【アーティスト】指導・稽古</p> <p>→</p> <p>発表 講評・公演</p> <p>実施会場拡充</p> <p>★ 事業の評価・検証</p>		
文化施設でのワークショップ	<p>【子供】応募・練習参加 【アーティスト】指導・交流・創造</p> <p>→</p> <p>発表 講評・公演</p> <p>(5施設(予定))</p> <p>★ 事業の評価・検証</p>		
島しょ部でのワークショップ	<p>【子供】練習参加・創造 【アーティスト】指導・交流・創造</p> <p>→</p> <p>発表 公演</p> <p>★ 事業の評価・検証</p>		

## 3 - 4 Shibuya StreetDance Week

### 【事業概要】

新しい芸術文化としてのストリートダンスの確立と、ストリートダンサーの聖地である渋谷から世界へ、良質なエンターテインメントを発信し、渋谷をより活力にあふれた街にすることを目的に、国内最大規模のストリートダンスの祭典を代々木公園を中心に開催する。

### 【3年後の目標】

ユース層によるダンス等の芸術文化を鑑賞・参加する機会が増加するとともに、コンテスト参加やプログラム鑑賞を通じて、仲間と連帯して新しい表現を創作するなど、創造力や発想力の育成に貢献している。

### 【2023年度の実績】

11月23日（木・祝）代々木公園で開催

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
Shibuya StreetDance Week	開催準備 → ★ 開催（11月） （代々木公園、渋谷エリア）  ★ 事業の 評価・検証	事業の評価・検証を反映し運用	

### 3 - 5 TACTフェスティバル

#### 【事業概要】

子供の感受性を育み、コミュニケーション能力を向上させることを目的として、海外から一流の舞台芸術家を招聘し、子供だけでなく親子で、そして大人も楽しむことのできる上質の舞台公演やパフォーマンスを東京芸術劇場で上演する。

#### 【3年後の目標】

英国エジンバラフェスや仏アビニョン演劇祭はじめとした有名芸術祭のように知名度を上げて、国内外の演者と観客共に参加モチベーション向上に寄与するとともに、子供に本格的な舞台芸術に触れる機会を増やす。

#### 【2023年度の実績】

開催期間：2023年5月2日（火）～5月7日（日）

開催場所：東京芸術劇場

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
TACT	<p>★ 開催（5月・芸劇）</p> <p>★ 事業の 評価・検証</p> <p>海外招聘の再始動に向けて の調整</p> <p>→</p> <p>新規メディアプラン・海外広報の強化</p> <p>→</p>	<p>事業の評価・検証を反映し運用</p> <p>→</p>	

## 3 - 6 Music Program TOKYO (ミュージックワークショップ他)

### 【事業概要】

子供向けに年齢に応じたミュージックワークショップを実施 (Workshop Workshop!) するとともに、教育プログラムでは子供向けオペラ制作のワークショップ (Music Education Program)、小学生、中高生を対象とする舞台芸術事業 (Enjoy Concerts!) を実施するなど、子供が芸術文化に主体的に取り組み、成長と共にステップアップする事業を東京文化会館等で展開する。

### 【3年後の目標】

子供が本格的な音楽やオペラに親しめる事業が定着し、裾野の拡大に寄与している。

### 【2023年度の実績】

開催期間：通年

開催場所：東京文化会館、東京芸術劇場ほか都内文化施設等

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
Music Program TOKYO	<p>Workshop Workshop! 通年で館内や都内文化施設と連携して実施</p> <p>Music Education Program 通年で都の教育機関と連携したアウトリーチ</p> <p>Enjoy Concert! 夏休みに他の文化施設と連携したオペラワークショップ シアター・デビュー・プログラム他</p> <p>★事業の 評価・検証</p>		

## 3 - 7 Museum Start あいうえの

### 【事業概要】

東京都美術館が中心となり、上野公園の日本を代表する9つの文化施設が連携し、子どもたちの「ミュージアム・デビュー」を応援するプロジェクトであり、作品や文化資源を「観察・鑑賞」し「伝える・共有する」活動を通して文化を主体的に楽しむ機会を創出する。

### 【3年後の目標】

プロジェクトが定着し、ミュージアム・デビューする子供が増える環境が構築できている。

### 【2023年度の実績】

東京都美術館等9つの文化施設において各種プログラムを実施

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
Museum Start あいうえの	ファミリー&ティーンズ・プログラム	事業の評価・検証を反映し運用	
	学校プログラム		
	ダイバーシティプログラム		
	教育ツールを活用したプログラム		
	9館連携ポータルサイトの展開		
	★ 事業の 評価・検証		

## 3-8 ウェルカムユース

### 【事業概要】

- ・若年層を都立文化施設へ無料招待する取組や、若い世代が主体的に参加できるイベント開催することで、若年層が良質な芸術文化に触れる機会を提供する。

### 【3年後の目標】

- ・ウェルカムユース等の実施を契機として、子供・若者が芸術文化を鑑賞・参加する機会が増えている。

### 【2023年度の実績】

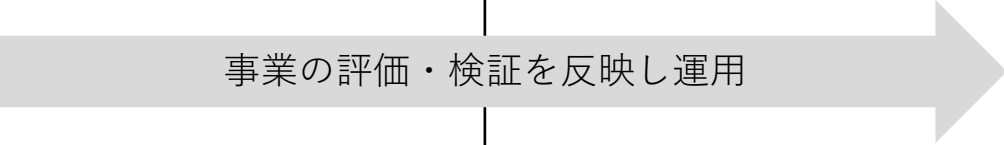
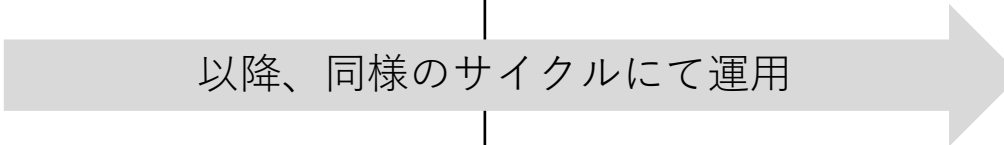
[Welcome Youth (ウェルカムユース) -2024春-の実施]

従来よりも博物館・美術館の開催期間を拡充するとともに、2023年度より新たに劇場・ホールへの招待を実施

【新規】(劇場・ホール) 2024年2月1日(木)～同年3月8日(金)の期間に実施する7つの公演に120名招待

【拡充】(博物館・美術館) 2024年3月1日(金)～同年4月7日(日)

- ・対象施設：(公演) 東京文化会館・東京芸術劇場  
(展覧会) 東京都庭園美術館、江戸東京たてもの園、東京都写真美術館、東京都現代美術館、東京都美術館
- ・実施内容：①18歳以下を対象に対象施設の公演・展覧会観覧無料  
②2024春の展覧会・イベント紹介  
③博物館・美術館を巡るデジタルコンテンツ 等
- ・告知等 特設ウェブサイトの開設、都内高校へのポスター配布、SNS広告等

年度	2024年計画	2025年計画	2026
ウェルカムユース (展覧会等の無料観覧) (公演等の無料招待) ※歴史文化財団自主事業	企画展等 (18歳以下、春2か月)  ★ 事業の 評価・検証	事業の評価・検証を反映し運用 	
ウェルカムユース (告知・キャンペーンイベント) ※歴史文化財団自主事業	都内高校へのポスター配布 SNS広告等 WY独自イベント	以降、同様のサイクルにて運用 	



## 3-9 若年層が主体的に芸術文化を体験する取組

### 【事業概要】

[子供たちの芸術文化への興味関心を深める取組]

- ・芸術文化に対する強い関心等を持つ子供たちが、自らの興味関心に応じた分野への理解や経験を一層深めることのできるプログラムを提供

[教育庁と連携した子供の体験事業]

- ・都内学校を対象に芸術文化やスポーツ、科学などの多様な体験プログラムをメニュー化し提供する事業において、芸術文化に係るプログラムの提供に協力。児童・生徒の積極性や協調性などの豊かな心を育成

### 【3年後の目標】

- ・学校外の芸術文化活動でニーズを捉えた良質な体験機会を提供し未来の東京の芸術文化を支える人材育成をサポートしていく。
- ・学校が選択した芸術文化活動により、クラスや学年などの全体での体験を通じて、子供たちの芸術文化の裾野拡大に寄与する。

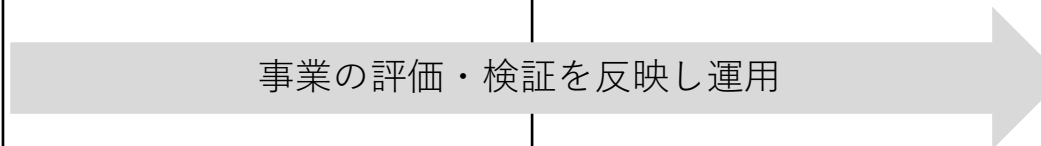
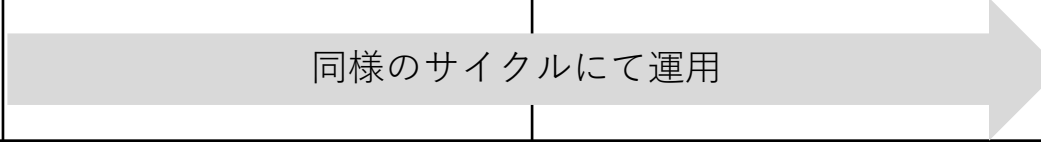
### 【2023年度の実績】

[子供たちの芸術文化への興味関心を深める取組]

※ 2024年度より新規実施

[教育庁と連携した子供の体験事業]

28プログラム（うち20プログラムには通常の公演鑑賞にとどまらない、バックヤードツアーや演者とのアフタートークなどのプラスアルファの体験）を提供。約80校10,000名が提供したプログラムに参加。

年度	2024年計画	2025年計画	2026
教育庁と連携した子供の体験事業	実施準備 → ★ 事業の評価・検証 体験活動実施 →	事業の評価・検証を反映し運用 	
子供たちの芸術文化への興味関心を深める取組	実施準備 → ★ ★実施 事業の評価・検証	同様のサイクルにて運用 	

## 戦略 2

人々をインスパイアする

# プロジェクト4

## スマート・カルチャー・プロジェクト

4-1 TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト

4-2 シビック・クリエイティブ・ベース東京「CCBT」

4-3 文化振興のDXにおける発信力強化

(再掲) 6-6 芸術文化魅力創出助成

## 4 - 1 TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト

### 【事業概要】

都立文化施設における情報通信基盤整備、デジタルコンテンツ化による収蔵品の利活用、デジタルを活用したプログラムの企画開発、最先端技術を活用した新しい鑑賞体験などにより、魅力的なコンテンツを創造・発信するプロジェクト

### 【3年後の目標】

都立文化施設の情報通信基盤が完了。2025年度にはTokyo Museum Collectionにて収蔵品情報を全面公開(約37万点)。収蔵品等の新たな利活用段階として、オンライン展覧会などの新たな取組によって、新たな楽しみ方を提示している。

### 【2023年度実績】

東京都美術館で情報通信基盤の整備。Tokyo Museum Collectionにて収蔵品情報を公開(総公開数約15万点 2023年度末)。江戸東京たてもの園の建造物「子宝湯」の3Dデータ化。江戸東京博物館ゲームアプリ第2弾「ハイパー江戸博『明治銀座編』」を公開(シリーズ累計18万ダウンロード 2023年12月末現在)。

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
情報通信基盤の 段階的整備	事業系ネットワーク増速・増設整備 各施設ファイルサーバ整備・運用		
都立文化施設が 有する収蔵品等 の利活用	収蔵品のデータ公開 収蔵品の3Dデータ及び高精細画像の制作・公開 映像資料・貴重資料のデジタルリマスター	★ 全面公開	オンライン展覧会の開催
デジタルを活用 した新規プログラ ムの企画開発 ／最先端技術を 活用した新しい 鑑賞体験の創造	江戸東京博物館ゲームアプリ「ハイパー江戸博」の制作 「ハイパー江戸博」インタラクティブコンテンツの実証実験 都立文化施設におけるデジタルを活用したプログラムの企画開発	★	江戸博リニューアルオープン

**【事業概要】**

アートとデジタルテクノロジーを通じて、人々の創造性を社会に発揮する（シビック・クリエイティブ）ための活動拠点。「Co-Creative Transformation of Tokyo (CX) ～クリエイティブ×テクノロジーで東京をより良い都市に変える」をミッションに掲げ、様々なプログラムを展開

**【3年後の目標】**

アートやテクノロジーを身近に体験できる機会が増えるとともに、東京をより良い都市に変える新たな表現が生み出され、国内外に発信されることで都市の魅力の1つになっている。

コアプログラムのほか、スタートアップや研究機関との協働、イベントを通じたまちとの連携、海外連携プログラムなど様々な取組を通じて、人々の創造性が触発されている。

**【2023年度実績】**


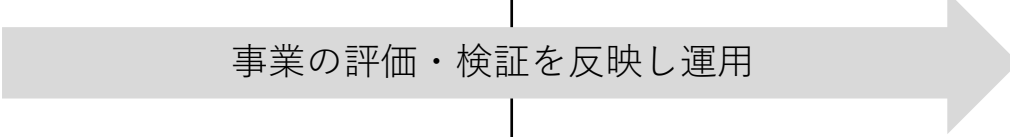




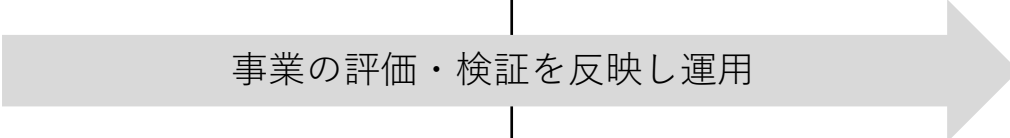
クリエイティブ×テクノロジーで東京をより良い都市に変える表現・探求・アクションを作り出すアーティスト・フェロー5組を公募し、約140組から応募。「MEET YOUR ART FESTIVAL 2023」「SIW 2023」「渋谷ファッションウィーク2024」などのアートイベントと連携し、CCBT発のクリエイションをまちへ展開。

オーストリアのリンツ市を拠点に活動する文化機関「アルスエレクトロニカ (Ars Electronica)」と事業連携を開始。

・リンツ市で開催された世界最大規模のメディアアートの祭典「アルスエレクトロニカ・フェスティバル2023」に出展。

・アートとイノベーションの関係を探るPop-up展示「Art as Catalyst - 創造性を触発するアーティストたち」を開催

Upgrade with Tokyo優勝企業とのアートイベントを開催するなど、スタートアップとの官民協働を推進。

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
コアプログラムの推進	①アートインキュベーションプログラム ②ミートアップ ③ワークショップ ④キャンプ ⑤ショーケース ★ 事業の 評価・検証 	 事業の評価・検証を反映し運用	
多様なパートナーとの連携	SusHi Tech Tokyoとの連携  海外文化機関との連携  まちとの連携  スタートアップとの連携 	 事業の評価・検証を反映し運用	

## 4 - 3 文化振興のDXにおける発信力強化

※海外発信プロジェクト（再掲）

### 【事業概要】

文化振興におけるデジタル推進事業（CCBT、TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト）について、国内外に向け積極的に広報を展開し、都市のプレゼンスを向上

### 【3年後の目標】

文化振興におけるDX事業のブランディングを図り、世界を惹き付ける都市東京の魅力発信を強化している

### 【2023年度の実績】

※ 2024年度新規事業

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
発信力強化の取組	デジタル推進事業のブランディング →	同様のサイクルにて運用 →	同様のサイクルにて運用 →

# プロジェクト5

## 「アートのある生活」プロジェクト

5-1 現代アートの振興事業

5-2 ライフウィズアート事業

5-3 東京アートブックフェア

## 5 - 1 現代アートの振興事業

### 【事業概要】


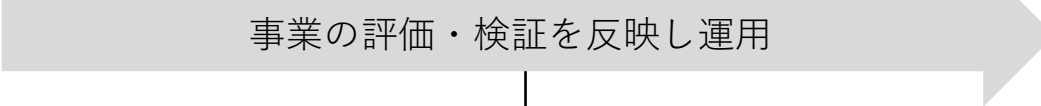
「アートウィーク東京」における美術館やギャラリーの周遊事業などによって、アート鑑賞・交流を楽しむ機会や、現代アートを学べる機会、アート作品の購入経験のない層も気軽に購入することができる機会など、多くの人々が様々な芸術文化と出会う機会をつくる。また、アートイベントの機会を捉えた若手アーティストの活動を後押しするために制作・発信を支援する取組や、作品の魅力をより深く学べるツアーやセミナーの開催を通じてアートファンのすそ野拡大を図り、東京のアート市場を活性化させる。芸術文化を気軽に生活の中に取り入れられるよう、絵画作品を貸し出す（アートライブラリー）など新たな仕組みの検討も進める。

### 【3年後の目標】

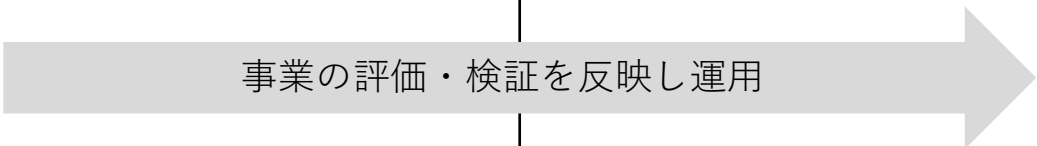
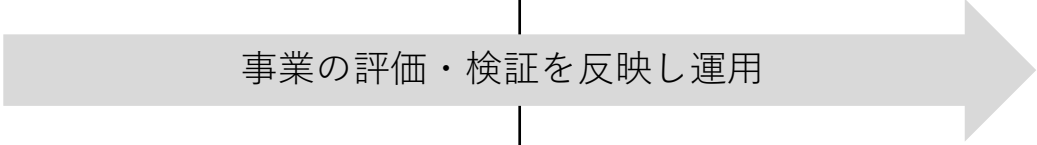
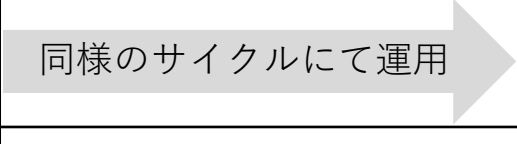
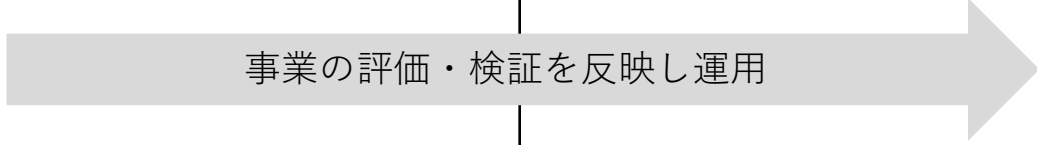
「アートウィーク東京」が東京ならではのイベントとして都民に楽しんでもらうとともに、現代アートの振興に向け、市場の活性化施策及びアーティストの成長を支える施策を展開し、東京のコンテンポラリーアートを世界に発信する契機となっている。

### 【2023年度実績】

- アートウィーク東京〔11月2日～5日 4日間〕において、以下の事業を実施し、のべ40,000人以上が参加。
  - ・美術館やギャラリーなどの都内に点在する約50のアートスポットを巡る周遊バス事業
  - ・大倉集古館での子供若者向け鑑賞ガイドツアー（全8回）、コレクター向けガイドツアー（全3回）を実施
  - ・アートコレクター志望者向けのスタートアップセミナー（全3回）を実施
  - ・国内外からキュレーターを招聘した国際シンポジウムを開催
  - ・現代アートへの理解・学びを深掘りするオンライントークをウェブ配信
- 若手アーティストの「語る力」と「コンセプト」を向上させる伴走型支援プログラム「Tokyo Artist Accelerator Program」を新たに立ち上げ、10名の支援対象アーティストを公募により選定
- アートを軸に音楽やファッション、エンタメ等周辺分野との連携を通じて多くの人々が現代アートに触れるきっかけとなるイベント「MEET YOUR ART FESTIVAL2023」を民間事業者と共催で実施

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
アートウィーク東京	実施準備  ★実施 ★ 事業の 評価・検証	 事業の評価・検証を反映し運用	



年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
コレクター裾野拡大の取組（セミナー・子供向けガイドツアー等）	実施準備 → ★実施 ★ 事業の 評価・検証		事業の評価・検証を反映し運用 
キュレーターシンポジウム	実施準備 → ★実施 ★ 事業の 評価・検証		事業の評価・検証を反映し運用 
Tokyo Artist Accelerator Program	制作・発信支援 → ★発表の場の提供 広報発信 → 募集審査	広報発信 → 募集審査 制作・発信支援 → ★発表の場の提供	制作・発信支援 → ★発表の場の提供 同様のサイクルにて運用 
民間と共催によるアート振興事業	実施準備 → ★実施 ★ 事業の 評価・検証		事業の評価・検証を反映し運用 

## 5-2 ライフウィズアート事業

### 【事業概要】

アート作品を都民の日常生活の中に根付かせて、アーティストの活動領域を広げる基盤整備を進めることで、芸術文化に携わる人材を増やし、好循環を生み出していく。

### 【3年後の目標】

新しい取組により、都民が暮らしの中で芸術文化に触れる機会が増えている。

### 【2023年度実績】




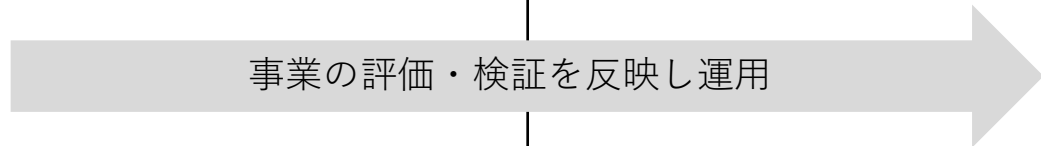

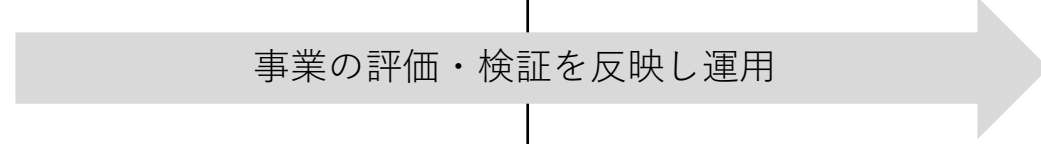
【ライフウィズアート事業】 アーティストと企業のマッチングに向けた取組を民間団体と連携して実施

【ライフウィズアート助成】 アート作品を都民の日常生活の中に根付かせて、アーティストの活動領域を広げる基盤整備を進めることで、芸術文化に携わる人材を増やし、好循環を生み出すことにつながる取組を支援  
 助成上限額：2,000万円

助成率：1/2

申請受付：5月16日～6月30日

採択件数：7件（申請：35件）

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
ライフウィズアート事業	コーディネーター育成  アートと企業等とのマッチング  創作環境の整備  ★ 事業の 評価・検証	 事業の評価・検証を反映し運用	
ライフウィズアート助成	公募・採択・助成  ★ 事業の 評価・検証	 事業の評価・検証を反映し運用	

## 5-3 東京アートブックフェア

### 【事業概要】

アート出版に特化した日本で初めてのアジア最大級の民間主催のブックフェアを東京都現代美術館を会場に開催し、芸術文化の新たな楽しみ方を創出するとともに、若手作家の支援や海外への発信にもつなげる。

### 【3年後の目標】

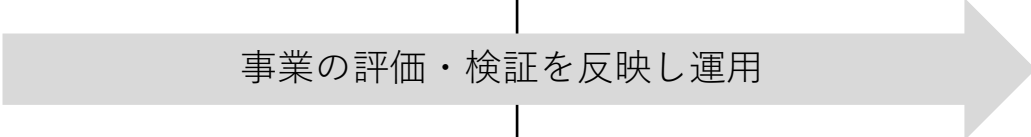
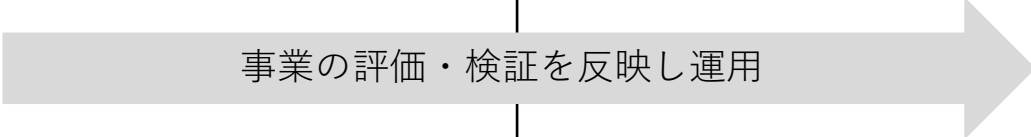
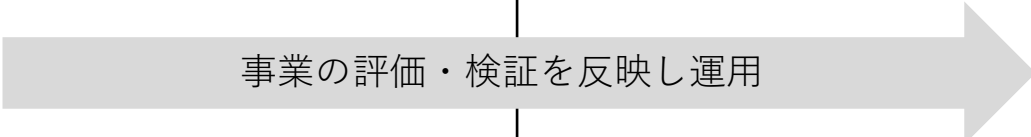
集客力のあるアートブックフェアを活用することで、新たな切り口で芸術文化に触れる都民が増えている。

### 【2023年度実績】

会期：11月23日～26日(4日間)

会場：東京都現代美術館

備考：アートブックフェアにおいて国内若手作家を中心としたトークイベントを開催

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
アートブックフェアの開催	実施準備 → ★実施 ★ 事業の 評価・検証		
作家支援	実施準備 → ★実施 ★ 事業の 評価・検証		
交流プログラム	海外招聘、関連プログラム → 海外ABFへの派遣 →		

# プロジェクト 6

## アート & エンターテインメントプロジェクト

6-1 TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL (サラダ音楽祭)

6-2 東京芸術祭

6-3 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり

6-4 六本木アートナイト

6-5 恵比寿映像祭

6-6 芸術文化魅力創出助成

6-7 ベイエリアにおけるアートイベント

(再掲) 1-2 伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル～

(再掲) 2-5 世界陸上・デフリンピックに向けたアートプロジェクト

# 6 - 1 TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL (サラダ音楽祭)

## 【事業概要】

Sing and Listen and Dance～歌う！聴く！踊る！をコンセプトに東京都交響楽団（都響）と東京芸術劇場（芸劇）を中心とした実行委員会の下、民間企業等と連携して誰もが楽しめる音楽祭を開催。ファミリー・子供向け音楽企画や、障害のある方も一緒に鑑賞できるコンサートに、都響の楽員と子供たちの合同演奏や演奏指導等を実施し、多様性と調和（社会的包摂）の推進・次世代育成を目指すオリンピックレガシー事業として展開する。

また、地域コミュニティ等と連携し、多摩や島しょでも地域差なく音楽に触れられる機会を提供する。

## 【3年後の目標】

コンサート等の企画を通じて、社会的包摂の推進、地域で音楽を気軽に触れる機会の提供を進めるとともに、都響の音楽教育への知見や、楽員を活用する教育プログラムを音楽祭の中心事業のひとつに据え、体験・鑑賞・教育を包括した特色ある音楽祭として定着を図り、さらに多くの都民が参加できる音楽祭として発展させる。

## 【2023年度実績】

[メインプログラム] 8月5日(土)、6日(日)

[スペシャルプログラム] ●SaLaDスプリングコンサート 5月4日(木・祝) 会場：日比谷公園大音楽堂

●SaLaDプレミアムコンサート 5月23日(火)24日(水)、8月28日(月)29日(火)、10月24日(火)25日(水)

会場：日野、町田、立川、多摩、小金井、東大和、

※このほか、多摩島しょ地域で小規模公演を3回実施

[教育プログラム] 都響の楽員から直接指導を受け、成果発表会としてメインプログラム当日に楽員と共に弦楽アンサンブルを披露する「サラダ音楽祭マスタークラス」を実施

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
コンサート等企画の実施	<p>開催準備 → ★</p> <p>サラダ音楽祭開催</p> <p>★ スプリングコンサート</p> <p>★ プレミアムコンサート</p> <p>★ 事業の評価・検証</p>	<p>事業の評価・検証を反映し運用</p>	
教育プログラムの実施	<p>実施準備・公募 →</p> <p>★ 実施</p> <p>★ 事業の評価・検証</p>	<p>事業の評価・検証を反映し運用</p>	

## 6 - 2 東京芸術祭

### 【事業概要】

池袋周辺地域を中心に、多くの都民に親しみやすい作品から個性豊かな作品まで、国内外の多様な舞台芸術作品を上演するとともに、舞台芸術に関わる国際的な人材育成事業なども行う総合的な国際舞台芸術祭を実施する。

### 【3年後の目標】


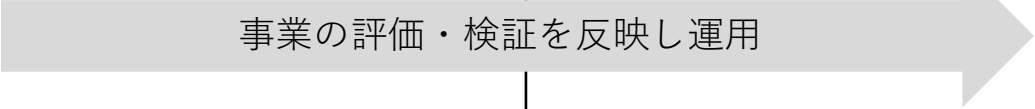
東京から舞台芸術を発信することで、国内外から多くの人々を呼び込むと同時に、多くの人を楽しめる創造的事業を推進し、観光・まちづくり・地域の文化芸術の振興に寄与する。

### 【2023年度実績】

東京の多彩で奥深い芸術文化を通して世界とつながることを目指す「東京芸術祭」を開催

会期：9月1日～10月29日

会場：東京芸術劇場、ロサ会館、メトロポリタンプラザビル自由通路、東京都豊島区池袋エリアほか

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
東京芸術祭	日本の舞台芸術の国際的な地位向上、ブランドの確立に貢献するプログラムを実施  ★ 事業の 評価・検証	 事業の評価・検証を反映し運用	

## 6 - 3 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり

### 【事業概要】

神楽坂エリア一帯を地域の文化資源として活用し、伝統芸能に馴染みのない初心者や若年層、外国人（観光客、在住者）にも気軽に参加できる構成と内容で、日本の伝統芸能や文化に親しむ端緒となることを目的とした伝統芸能のフェスティバルを実施する。

### 【3年後の目標】

伝統芸能公演の鑑賞・参加を通じて、日本文化に対する理解や幅広い知識を深めることに貢献するとともに、若手実演家等の活躍の機会を提供することなどにより担い手の育成を図り、次世代へ継承するきっかけを作る。また、コロナ後のインバウンドを含む多くの人々が来訪することに貢献している。

### 【2023年度実績】

会期：5月20日、21日

会場：神楽坂エリア

（毘沙門天善國寺、赤城神社、矢来能楽堂、志満金、白銀公園、神楽坂通りエリア内路上、歴史的な名所旧跡 ほか）

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
神楽坂まち舞台・ 大江戸めぐり	開催準備・開催(春)  ★ 事業の 評価・検証	事業の評価・検証を反映し運用	

## 6-4 六本木アートナイト

### 【事業概要】

六本木のまちを舞台に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどを含む多様な作品を点在させ、非日常的な体験を創出する。アートとまちが一体化することにより、六本木の文化的なイメージを向上させ、大都市におけるまちづくりの先駆的なモデルを創出する。

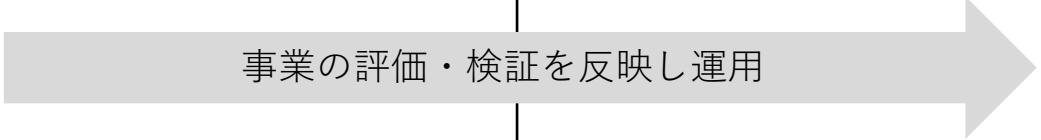
### 【3年後の目標】

若手アーティスト等に参加機会を提供することにより、飛躍につながる創造、発信の場となっている。また、国際発信力のある刺激的なプログラムによって、東京の魅力を世界に発信し、コロナ後のインバウンドを含む多くの人々が来訪することにも貢献している。

### 【2023年度実績】

会期：5月27日～5月28日

会場：六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21\_21 DESIGN SIGHT  
国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

年度	2024年計画	2025年計画	2025年計画
六本木アートナイト	開催準備・開催 国際発信力のある芸術文化フェスティバルとしての発信力強化 障害・言語のバリアフリー環境整備 六本木地域のブランディング ★ 事業の 評価・検証	 事業の評価・検証を反映し運用	



## 6-5 恵比寿映像祭

### 【事業概要】

東京都写真美術館を中心に、映像分野における創造活動の活性化と、映像表現ジャンルを横断した芸術性の高い作品を紹介することを目的とした、映像とアートのフェスティバルを開催する。

### 【3年後の目標】

国際発信および都民への文化還元の強化を主眼とした持続可能な事業へ、バージョンアップした施策・構成のエコシステムを構築する。映像祭における制作委嘱事業により、作家の海外発信を強化するとともに、創作活動の支援を行う。近隣地域文化施設等との共催事業による地域の活性化を促進する。

### 【2023年度実績】

会期：2024年2月2日～2月18日※コミッション・プロジェクト（3F展示室）のみ3月24日まで  
会場：東京都写真美術館、恵比寿ガーデンプレイス センター広場、地域連携各所ほか

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
恵比寿映像祭	開催準備・開催 → ★ 事業の 評価・検証	事業の評価・検証を反映し運用 →	

**【事業概要】**

世界に誇る芸術文化都市の実現を目指し、様々なジャンルのフェスティバルやアートプロジェクト等の創造活動、東京の魅力として発信力・持続力のあるプロジェクト等を支援

**【3年後の目標】**

助成を通じて民間主催のフェスティバルと連携し、都主催の文化事業とあわせて、芸術文化が溢れる都市を実現、芸術文化による新たな賑わいが創出されている。

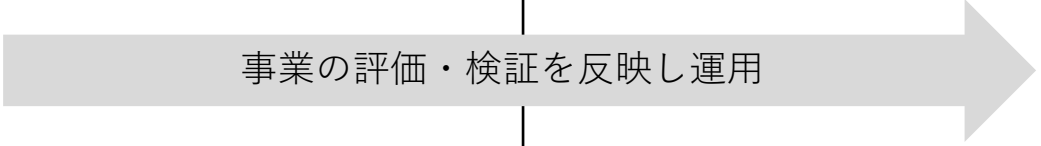
**【2023年度実績】**

助成上限額：2,000万円 ※鑑賞サポート、デジタル開発サポート、創作環境サポートに係る費用を別途支援

助成率：1/2

申請受付：第1期 3月24日～5月15日、 第2期 8月25日～9月29日

採択：第1期 42件（申請：163件） 第2期 28件（申請：151件）

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
芸術文化魅力創出助成	公募・助成（年2回） 助成事業の実施 → ★ 事業の 評価・検証	 事業の評価・検証を反映し運用	

## 6-7 バイエリアにおけるアートイベント

※地域活性化プロジェクト（再掲）  
海外発信プロジェクト（再掲）

### 【事業概要】

民間企業や関係機関と連携し、多様な魅力やポテンシャルを持つエリアを舞台とした、新たなアートイベントを開催する。また海外発信用のメディアプラットフォームの構築など、海外向け広報を重点的に展開する。

### 【3年後の目標】

東京の都市としての魅力をアートを通じて世界に発信し続けることで、東京の国際的なプレゼンスをさらに高めていく

### 【2023年度の実績】

※ 2024年度新規事業

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
アートイベントの開催	アートイベントの開催・海外向け広報を重点的に展開		

# 戦略 3

## ハブ機能を強化する

# プロジェクト7

## アート・ハブ（Art Hub）プロジェクト

7-1 TOKYOアート・ハブの検討

7-2 東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」

(再掲) 4-2 シビック・クリエイティブ・ベース東京

## 7-1 TOKYOアート・ハブの検討

### 【事業概要】

東京に集積しているアーティストやプロデューサー、ディレクター、キュレーター、演出家、芸術文化団体、アーティスト・イン・レジデンス等の多様な文化資源を結び付け、世界につなぐハブ拠点を形成し都市の成長につなげていく。その中核として、都民にとっては、最先端の芸術文化が体感でき、誰もが楽しめる場、多様なイベントで都民が直接アーティストと交流できる場、アーティスト等にとっては、東京のアーティストのショーケースや海外発信、最新テクノロジーでイノベーションを創造する場である「TOKYOアート・ハブ」を構築する。

### 【3年後の目標】

構想を取りまとめ、その結果に基づき「TOKYOアート・ハブ」の具体的な検討が進んでいる。

### 【2023年度実績】

アーティストと東京の多様な文化資源を結びつけ、新たな創造を生み出し、東京のアートやアーティストを世界に発信するハブ機能の構築に向けた調査を実施するとともに、有識者の意見を聴取

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
TOKYOアート・ハブの検討	検討		

**【事業概要】**







相談窓口、情報提供、スクールの3つの機能により、オンラインを中心に、専門家等と連携しながら、アーティスト等の持続的な活動を支援するため、東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」を2023年10月にオープン

**【3年後の目標】**

相談窓口、情報提供及びスクールの各機能の充実を図ることで、アーティストや芸術文化の担い手の持続的な活動の更なる後押しをしている。

**【2023年度実績】**

- ・相談窓口：オンラインを活用し、ジャンルや経験を問わず、多くのアーティスト等からの相談に対応  
「ART JOB FAIR 2024」への出張相談を実施(2024年1月27・28日)
- ・情報提供：ウェブサイトを活用し、都の助成事業に加え、国・民間の事業等の情報を一元的に提供
- ・スクール：ハラスメント、会計・税務、法務などの各テーマについて6つの分野で計29回実施  
アーツアカデミーのキャパシティビルディング、会計・税務講座をスクールに再編

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
相談窓口	実施  ★ 事業の 評価・検証	 事業の評価・検証を反映し運用	
情報提供	実施  ★ 事業の 評価・検証	 事業の評価・検証を反映し運用	
スクール	実施  ★ 事業の 評価・検証	 事業の評価・検証を反映し運用	

# プロジェクト 8

## 海外発信プロジェクト

- 8-1 Instagramを活用した戦略的海外広報
- 8-2 海外都市とのネットワーク形成
- 8-3 海外の劇場とのネットワーク形成
- 8-4 海外の博物館とのネットワーク形成
- 8-5 海外の美術館等諸機関とのネットワーク形成
- 8-6 THE TOKYO PASS
- 8-7 アートマネジメント人材等海外派遣
- (再掲) 6-7 ベイエリアにおける芸術文化イベント
- (再掲) 4-3 文化振興のDXにおける発信力強化



## 8 - 1 Instagramを活用した戦略的海外広報

### 【事業概要】

Instagramアカウント（Tokyo Arts & Culture）を用いて、動画コンテンツやライブ配信等を行い、東京の都市の魅力や文化芸術に関する情報を世界中の人々に対して発信することで、都の文化事業への関心を高める。

フォロワー数は約15.8万人(2024年1月19日現在)

### 【3年後の目標】

目標フォロワー数22万。海外の文化芸術系アカウントに肩を並べる質と影響力をもつアカウントに成長している。

### 【2023年度の実績】

- ・ 土日・年末年始を除いて月10回、都内文化施設の催しや文化イベント、パブリックアートなどのアートシーンを投稿。リールズ（ショート動画）投稿を4割程度に増やし、エンゲージメント数（ページ閲覧数・いいね数）が増加
- ・ 東京都庭園美術館開館40周年に合わせてMEETUPキャンペーンを実施（2023年9月22日）。施設・展覧会ツアーに参加したアカウントのフォロワー(17名)の投稿を通じて、東京の芸術文化の魅力を発信

【イベント投稿総閲覧数】 310,829

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
Instagramを活用した戦略的海外広報	インスタ投稿		
	キャンペーン実施	事業の評価・検証を反映し運用	
	★ 事業の 評価・検証		

## 8-2 海外都市とのネットワーク形成

### 【事業概要】

ロンドン市長の提唱により2012年から発足した世界都市文化会議（World Cities Culture Forum, WCCF）に参加し、各都市の行政実務者間で芸術文化への取組や課題等について共有・議論・情報交換を実施。年次サミット参加等を通じて海外都市とのネットワークを強化し、海外都市の好事例を踏まえた取組の検討を行うとともに、都の文化政策を海外発信・展開に結び付けていく。

### 【3年後の目標】

世界の各都市との文化交流を活性化させるとともに、アジア・太平洋地域の中心都市として国際的なイベントやプログラムを積極的に招致・実施している。

### 【2023年度の実績】

- ・公開ウェビナー『カルチュラル・オリンピアド』にスピーカーとして参加し、TokyoTokyo FESTIVALの報告や2025年の世界陸上・デフリンピックに向けた文化プログラムについてPR（2023年4月23日）
- ・アジア・太平洋地域都市オンラインミーティング（8都市）に参加、都の政策を発信（2023年8月、9月）
- ・世界都市文化サミット2023（サンパウロサミット）に出席し、海外都市への政策発信及びネットワーク構築を実施（2023年10月25日～27日）

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
WCCFへの参加	<p style="text-align: center;">準備 → ★ サミット参加</p>	<p style="text-align: center;">準備 → ★ サミット参加</p>	<p style="text-align: center;">準備 → ★ サミット参加</p>
	海外都市との共同プログラム等の検討・実施		

## 8-3 海外の劇場等とのネットワーク形成

### 【事業概要】

海外の劇場やフェスティバル等との間で提携協定を締結するなどネットワークを形成し、共同制作や両都市での公演等の事業につなげる。

### 【3年後の目標】

海外の劇場との間で文化交流が促進されるとともに、アジアにおける文化発信拠点としての地位を確立する。

### 【2023年度の実績】

東京芸術劇場：フィルハーモニー・ド・パリ及びパリ管弦楽団とエデュケーション企画の連携について協定締結(2023年)。これに基づき、2023年11月にパリ管弦楽団メンバーが来日し、東京芸術劇場の人材育成事業「芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド（通称：GOA）」在籍生への特別アカデミーを開催。世界のトップ奏者とGOA生、日仏のエデュケーション担当がネットワークを構築。

東京文化会館：2024年度の連携事業実施および継続的な音楽祭の開始に向け、IRCAM（フランス国立音響音楽研究所）、ニーム音楽祭Les Volques（フランス）との関係を構築

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
海外の劇場とのネットワーク形成	海外諸機関との共同事業の準備・実施		

※歴史文化財団自主事業

## 8-4 海外の博物館とのネットワーク形成

### 【事業概要】

江戸東京博物館がこれまでに築き上げた海外の博物館等との信頼関係を基に実施するシンポジウムや国際交流展を通じて、海外の研究者や機関と積極的に交流を行うとともに、異なる文化背景を持つ市民同士の相互理解と友好を促進する。

### 【3年後の目標】

都市博物館とのネットワークを堅固なものにするとともに、国際社会における江戸東京博物館の認知度をより一層高める。

### 【2023年度の実績】

ICOM CAMOC年次大会 10月16日（月）～18日（水） ニューヨーク市立博物館  
 日中韓博物館国際シンポジウム 12月5日（火）～6（水） 瀋陽故宮博物院  
 「近代版画の東京（仮）」パリ日本文化会館 開催のためのネットワーク構築

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
日中韓3か国4館国際シンポジウムへの参加 ならびに発表	調整、 発表準備 → 実施 【北京首都博物館】	調整、 発表準備 → 実施 【ソウル歴史博物館】	調整、開催・発表準備 → 実施 【江戸東京博物館】
国際交流展の実施	2022年実施 ソウル歴史博物館「隅田川展」 「近代版画の東京」展開催準備 (パリ日本文化会館) → 開催	→	
ICOMの主要分科会であるCAMOC（都市博物館のコレクション・活動国際委員会）年次大会への参加ならびに発表	参加・発表準備 → 実施 【アムステルダム】	参加・発表準備 → 実施 【ドバイ】	参加・発表準備 → 実施 【開催地未定】

## 8-5 海外の美術館等諸機関とのネットワーク形成

### 【事業概要】

東京都現代美術館にて海外美術館等諸機関とのネットワークを形成し、キュレーター同士の交流を通じて、海外諸機関との共同事業につなげる。

### 【3年後の目標】

東京都現代美術館と海外美術館等諸機関との共同事業の実施により、日本のアーティストを海外に紹介するとともに東京都現代美術館の海外での発信力を高める。

### 【2023年度の実績】

- ・ハン・ネフケンス財団（30ヶ国・現代美術助成団体）との連携事業計画の一環として助成事業審査会へ参加
- ・サンプルイド財団（香港、LGBTQ文化振興団体）、台湾アーティスト・美術館との連携国際企画展計画開始
- ・国立アトリサーチセンターのスタディーツアー参加、韓国美術館等の調査・交流
- ・一般社団法人CWAJ（25ヶ国・女性ボランティア団体）との触察ツールを用いた連携WS実施
- ・EUNIC（EU加盟国文化機関）6大使館、11文化機関の来館視察・交流
- ・National Gallery of Victoria(オーストラリア)の理事長、館長等VIP 27名来館、展覧会視察・交流
- ・オランダ文科省副大臣、オランダ大使館来館視察・交流
- ・国際文化交流基金による海外キュレーター（現代美術）の視察・交流
- ・その他、大使館、海外現代美術諸機関との情報交換・作品調査等のネットワーク構築など多数

	2024年計画	2025年計画	2026年計画
海外の美術館等諸機関とのネットワーク形成	海外諸機関との共同事業の準備・実施		

※歴史文化財団自主事業

## 8 - 6 THE TOKYO PASS

### 【事業概要】

訪日外国人の東京での文化観光体験の拡充を目指した、都内の国公立・私立の博物館・美術館・庭園・動物園・水族園・植物園等の文化施設（49施設：2024年3月末現在）へ入場できる周遊パス。

○企画・運営：THE TOKYO PASS -Culture プロジェクト

（構成企業・団体：株式会社丹青社、公益財団法人東京都歴史文化財団、公益財団法人東京観光財団、株式会社JTB）

○運営事務局：株式会社丹青社

○協力：東京都

### 【3年後の目標】

THE TOKYO PASS の取組を契機として、東京を訪れる訪日外国人が芸術文化を鑑賞・参加する機会が増えている。

### 【2023年度の実績】

参加施設数：2022年度39施設→49施設へ増

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
参加施設	新規参加施設の拡充・提供サービスの充実		
	初動参加施設のフォロー継続		
海外向け販売促進	海外向け販売促進 海外向け販売強化		
アプリ調整	運用状況によりアプリ調整		
独自イベント	回復期のアプリコンテンツ企画、独自イベントの検討～実施		

## 8-7 アートマネジメント人材等海外派遣

### 【事業概要】

演出家やキュレーターなどの若手のアートマネジメント人材を海外のフェスティバル等に短期派遣し、海外の先駆的な作品や創作現場に直に触れるとともに、海外専門家とのネットワークを作る機会を提供。国際的な視点に立った創作の機運醸成や、東京と各派遣先との連携の深化、東京と海外セクターとのネットワーク構築・強化に繋げる。

### 【3年後の目標】

国際的に活躍するプロフェッショナル人材を目指す若手にとって、海外の専門人材との緊密なネットワーク構築に資する有意な事業として認知され、東京の芸術文化の魅力の世界へ発信する契機となっている。

### 【2023年度の実績】

- 第1回 派遣人数：4名（応募者数：35名） 時期：2023年8月下旬  
派遣先：エディンバラ・フェスティバル
- 第2回 派遣人数：2名（応募者数：4名） 時期：2023年12月上旬  
派遣先：タイランド・ビエンナーレ（チェンライ）、バンコク
- 第3回 派遣人数：4名（応募者数：49名） 時期：2024年1月中旬  
派遣先：ニューヨーク・ブロードウェイ

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
アートマネジメント人材海外派遣	実施準備 → 報告会 → 公募・海外派遣(10名)の実施 → ★ 事業の 評価・検証		

## 戦略4

持続性のある芸術文化エコシステムを構築する



# プロジェクト9

## アーティスト・ステップアップ・プロジェクト

9-1 Tokyo Contemporary Art Award (TCAA)

9-2 TOKAS本郷「Emerging」「Open Site」

9-3 TOKAS「キュレーターインレジデンス」「国内レジデンス」

9-4 スタートアップ助成

9-5 東京芸術文化創造発信助成

9-6 東京音楽コンクール

# 9 - 1 Tokyo Contemporary Art Award (TCAA)

## 【事業概要】

国内で実績があり、更なる飛躍とポテンシャルが期待できる中堅アーティストに賞を授与し、次なるステージにキャリアを発展させ世界で広く活躍できるよう最適な時期に支援を行う。

## 【3年後の目標】

TCAAの受賞者が海外で展覧会を開催するなどの国際的な活躍を通じて、東京のアーティストの評価が高まり、底上げが図られている。

## 【2023年度の実績】

〔受賞記念展の開催〕 於：東京都現代美術館

第3回受賞者（志賀理江子、竹内公太）記念展：2023年3月18日(土) - 6月18日(日)

第4回受賞者（サエボーグ、津田道子）記念展：2024年3月30日(土) - 7月7日(日)

〔受賞者選考・決定〕

第5回受賞者（梅田哲也、呉夏枝）授賞式・記念シンポジウム：2024年2月17日(土)

〔受賞者による海外展覧会出展実績〕 2件（累計7件）

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
支援策の充実	<p>【第4回受賞者】</p> <p>展覧会開催 → モノグラフ作成・海外発信支援</p> <p>【第5回受賞者】</p> <p>海外活動支援</p>	<p>準備 → 展覧会開催</p> <p>【第6回】</p> <p>募集・選考 →</p>	海外活動支援
賞の魅力のPRや広報	<p>賞の特徴および魅力の発信、賞の実績、受賞アーティストの活動実績の発信</p> <p>★ 事業の評価・検証</p>	<p>事業の評価・検証を反映し運用</p>	

## 9 - 2 TOKAS本郷「Emerging」「Open Site」

### 【事業概要】

TOKASにおいて、35歳以下の新進アーティストに個展実施の機会を提供する「Emerging」やノンジャンルの実験的企画公募プログラム「OPEN SITE」のサポートを強化することで、若手から中堅のアーティストのステップアップのための支援を充実させる。

### 【3年後の目標】

展覧会の設営、作品の輸送などのサポートにより展覧会を充実させるとともに、自らを紹介するための小冊子を二か国語で作成しPRすることにより、更なる活躍の機会を得ている。

### 【2023年度の実績】

Emerging・OPEN SITEを活用し、展示設営やPR冊子の作成支援を通じて若手アーティストのステップアップを後押し  
〔TOKAS-Emerging 2023〕6名の公募展を実施（4月8日(土) - 5月7日(日)・5月20日(土) - 6月18日(日)）

〔TOKAS-Emerging 2024〕142組の応募から6名を選出し、2024年度の公募展の準備を実施

〔OPEN SITE 8〕215企画の応募から9の企画を選出し、TOKAS推奨企画と合わせて計10企画を実施  
（11月25日(土) - 12月24日(日)・1月13日(土) - 2月11日(日)）

〔OPEN SITE 9〕公募を実施（予定）

※いずれもトーキョーアーツアンドスペース本郷において実施

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
Emerging支援の充実	実施 （展示設営、輸送支援、 小冊子作成等） → 公募・審査 ★ 事業の 評価・検証		
OPEN SITEの活用	審査 → 実施 （展示設営、輸送支援、 カタログ助成等） → 公募 ★ 事業の 評価・検証		

## 9-3 TOKAS「キュレーターインレジデンス」「国内レジデンス」

### 【事業概要】

TOKASレジデンスにて、国内外のキュレーターの滞在活動を支援するとともに、国内の若手アーティストの滞在制作等を支援する。若手アーティストと実績のあるキュレーターとのネットワーキングや、キュレーターによるメンタリング等を実施することで、アーティストの成長につなげる。

### 【3年後の目標】

海外からのキュレーターを招聘し、国内のアーティストと交流することで、アーティストの成長と海外での活躍のきっかけが生まれるような好循環が生まれている。

### 【2023年度の実績】

〔キュレーターインレジデンス〕

キュレーター招聘プログラム：6名を海外より招聘

〔国内レジデンス〕

国内若手クリエイター滞在プログラム：2名がレジデンスに滞在

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
キュレーター インレジデンス	滞在活動支援、メンタリング 次年度の公募 ★ 事業の 評価・検証	事業の評価・検証を反映し運用	
国内レジデンス	ネットワーキング、メンタリング、 公開発表等 次年度の公募 ★ 事業の 評価・検証	事業の評価・検証を反映し運用	

## 9-4 スタートアップ助成

### 【事業概要】

東京を拠点とし、東京の芸術シーンの次代を担うことが期待される個人（新進の芸術家等）又は新進の団体（芸術団体、実行委員会等）が実施する芸術活動に対し助成する。

### 【3年後の目標】

東京の芸術シーンで活動を展開していこうとする、新進の芸術家や芸術団体がチャレンジする新たな芸術創造活動を支援し、今後の芸術活動へのステップアップに寄与している。

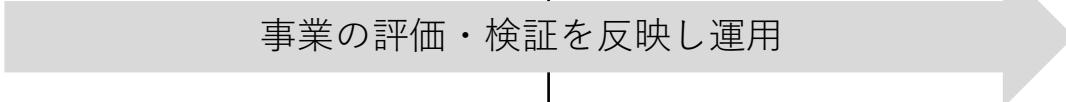
### 【2023年度の実績】 スタートアップ助成を4回実施

助成上限額：個人30万円、団体100万円

助成率：10/10

申請受付：【第1回】4月6日(木)～20日(木)、【第2回】7月6日(木)～20日(木)、  
【第3回】10月5日(木)～19日(木)、【第4回】1月4日(木)～18日(木)

採択(申請)件数：個人【第1回】25(158)件、【第2回】17(68)件、  
【第3回】21(79)件、【第4回】未定  
団体【第1回】20(115)件、【第2回】19(102)件、  
【第3回】22(106)件、【第4回】未定

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
スタートアップ助成	公募・助成（年3回） 助成事業の実施  ★ 事業の 評価・検証	 事業の評価・検証を反映し運用	

## 9 - 5 東京芸術文化創造発信助成

### 【事業概要】

主に若手・中堅の芸術家や芸術団体等をターゲットに、活動の目的や助成期間に応じた3つのカテゴリーにより公募を行い、東京の都市魅力の向上に寄与する多様な芸術の創造活動及び国内外への発信活動とその担い手を支援する。

### 【3年後の目標】

複数年を対象とする助成など、様々な支援プログラムを実施することにより、多様な創造活動の担い手を後押ししている。

### 【2023年度の実績】 東京芸術文化創造発信助成を実施

#### (1) カテゴリーⅠ 単年助成

①都内での芸術創造活動（団体：200万円 個人：50万円かつ、助成対象経費の1/2以内）

採択(申請)件数：【第1期】72(422)件、【第2期】41(136)件

②国際的な芸術交流活動（団体：400万円 個人：50万円かつ、助成対象経費の1/2以内）

採択(申請)件数：【第1期】11(56)件、【第2期】8(24)件


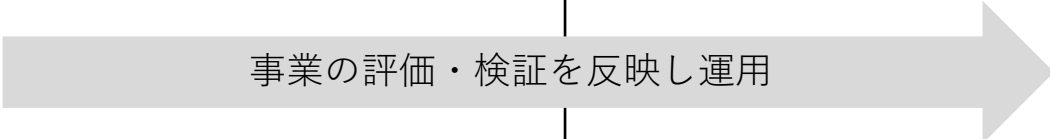
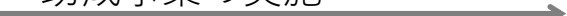
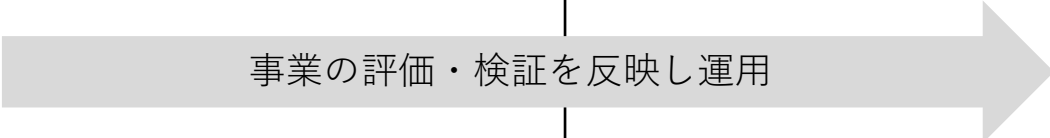
#### (2) カテゴリーⅡ 長期助成（【2年間】800万円【3年間】1,200万円 かつ、助成対象経費の1/2以内）

採択(申請)件数：1(32)件

#### (3) カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業

①単年助成 採択(申請)件数：【第1期】4(12)件、【第2期】3(15)件

②長期助成 採択(申請)件数：2(20)件

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
単年助成 (1年)	公募・助成（年2回） 助成事業の実施  ★ 事業の 評価・検証	 事業の評価・検証を反映し運用	
長期助成 (2～3年)	公募・助成（年2回） 助成事業の実施  ★ 対象を拡充 (ポストプロダクション追加) 事業の 評価・検証	 事業の評価・検証を反映し運用	

## 9 - 6 東京音楽コンクール

### 【事業概要】

芸術家としての自立を目指す可能性に富んだ新人音楽家を発掘し、育成・支援を行うことを目的として東京文化会館で音楽コンクールを実施する。

### 【3年後の目標】

海外との連携により、東京発の世界的アーティストの輩出を目指し、東京音楽コンクール入賞者の海外での研鑽・活躍の場を創出する。

### 【2023度の実績】

第21回東京音楽コンクールを開催（応募総数421名）し、優勝者3名によるコンサートを開催した。優勝者をオーケストラや国際共同制作オペラに参加させ、国内外での活躍機会を増加させた。

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
コンクールの運営	第22回東京音楽コンクールの実施 →	事業の評価・検証を反映し運用 →	
	審査体制・支援に向けた検討 →		
	成果発表・オーケストラ・オペラへの参加 →		
	★ 事業の 評価・検証		

# プロジェクト10

## 担い手育成・支援&創作環境向上プロジェクト

10-1 タレンツ・トーキョー

10-2 とびらプロジェクト

10-3 担い手育成の体系整理

10-4 芸術系大学等との連携

10-5 芸術文化団体等とのネットワーク会議

10-6 アート・プロボノ等

10-7 TOKASレジデンシー

10-8 アーティストの創作環境の整備

10-9 東京ライブ・ステージ応援助成

(再掲) 7-2 東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」



**【事業概要】**

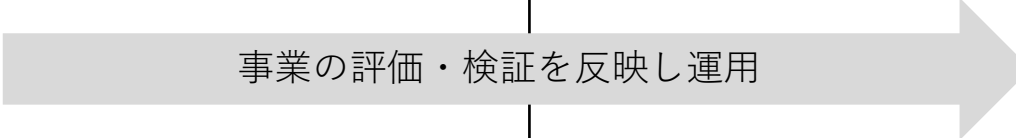
東京からの文化の創造・発信を強化するため、映画分野における「次世代の巨匠」になる可能性を秘めた「才能 (= Talents、タレンツ)」を育成することを目的に、映画作家やプロデューサーを目指すアジアの若者を東京に招聘して実施。世界で活躍していくためのノウハウや国際的なネットワークを構築する機会を提供する。

**【3年後の目標】**

映画分野における次代を担う「タレンツ」に対し、ネクスト・マスターズ・サポート・プログラムなどの継続的支援を行い、タレンツ・トーキョー修了生が国際映画祭等で活躍し、国際的な評価の獲得に貢献している。

**【2023年度の実績】**

- ・参加者応募選考により選ばれた17名が参加し、タレンツ・トーキョー2023を実施  
 会場：有楽町朝日ホールほか  
 期間：11月20日（月）から11月25日（土）までの6日間
- ・ネクストマスターズサポートプログラム（NMSP）の実施  
 修了生の応募選考により、企画開発ファンド11名、プロモーションファンド1名、フェロークシップ13名（春・秋・冬）に助成
- ・修了生の映画祭等での活躍
  - ・第24回東京フィルメックスのプレイベント「Filmmakers' Homecoming」において、修了生の12作品を特集上映  
 開催日：11月3日（金・祝）～13日（月）
  - ・アマンダ・ネル・ユー監督ユリア・エフィナ・バラ氏プロデュース作品『タイガー・ストライプス』がカンヌ国際映画祭批評家週間グランプリを受賞
  - ・シャン・ゾーロン氏プロデュース作品『愛は銃』がヴェネチア国際映画祭で「Lion of the Future」賞を受賞

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
タレンツ・トーキョー	○レクチャーラボ <hr/> 公募・審査 ★ 実施（11月） ○NMSP 公募・審査・実施 <hr/> ★ 事業の 評価・検証	事業の評価・検証を反映し運用 	

# 10-2 とびらプロジェクト

## 【事業概要】

東京都美術館を拠点に、東京藝術大学と連携し、アートを介してコミュニティを育むソーシャルデザインプロジェクト。広く一般から集まったアート・コミュニケータ「とびラー」と、学芸員や大学の教員、そして第一線で活躍中の専門家がともに美術館を拠点に、そこにある文化資源を活かしながら、人と作品、人と人、人と場所をつなぐ活動を展開する。

## 【3年後の目標】

とびらプロジェクトの任期満了者が都立文化施設や全国各地で活躍するなど、東京都美術館を中心としたアートコミュニケータのネットワークが広がり好循環が生まれている。

## 【2023年度の実績】

- ・第12期とびラーへの基礎講座・実践講座を開催
- ・第13期とびラーの選考を実施
- ・東京都美術館において、とびラボ等のとびラーによる企画を実施

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
とびらプロジェクト	とびラーの学びのコミュニティの醸成（公募・審査募集フォーラムの開催） →	事業の評価・検証を反映し運用 →	
	とびラー（市民）による企画、実施 →		
	基礎講座・3種の実践講座を開催 →		
	★ 事業の 評価・検証		

## 10-3 担い手育成の体系整理

### 【事業概要】

東京都及び東京都歴史文化財団が実施している担い手育成事業を体系的に整理するとともに、文化戦略の実現に必要な内容を反映しながら、事業を展開する。  
さらに、OJTの活用など民間施設との連携に取り組むとともに、アーティストと都民・企業活動等を結び付けるコーディネーターの育成を重点化する。

### 【3年後の目標】

担い手の育成を推進するとともに、東京都歴史文化財団内の組織横断で体系的な人材育成プログラムを構築する。

### 【2023年度の実績】

担い手育成の体系整理について検討を実施。

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
担い手育成の体系整理	体系整理を踏まえた事業の検討・展開		

## 10-4 芸術系大学等との連携

### 【事業概要】

芸術系大学等との会議体を立ち上げ、都と大学等との共有の場を設けるとともに大学側のニーズを把握し、新人アーティスト等が持続的に活動できるよう施策へ反映する。

### 【3年後の目標】

会議体が機能し、新人アーティスト等が持続的に活動できるよう支援が充実している。

### 【2023年度の実績】

「芸術系大学等との連携会議」を開催し、事業紹介や意見交換を実施（2023年11月21日）

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
芸術系大学等との連携	ヒアリング → 会議開催 ★ 施策の検討 →	会議開催 ★	会議開催 ★

# 10-5 芸術文化団体等とのネットワーク会議

## 【事業概要】

芸術文化団体等とネットワークを形成し、必要な情報提供や意見集約に係る会議を行うとともに、都の施策に反映していく。

## 【3年後の目標】

ネットワークが強化され、行政課題や現場のニーズを施策に反映できている。

## 【2023年度の実績】

芸術文化団体とのネットワーク会議を実施し、アーティスト等に対する支援や東京都の取組等の情報を提供するとともに、芸術文化へのアクセシビリティ向上について意見交換を行い、民間が行う公演等における鑑賞サポートへの助成事業の施策に反映した。

開催時期：7月・2月

参加団体：のべ47団体参加

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
芸術文化団体等とのネットワーク会議	<p>会議開催 (意見聴取) ★ → 施策に反映 → 会議開催 (情報提供) ★</p> <p>随時の情報提供</p>	<p>同様のサイクルにて運用</p>	

## 10-6 アート・プロボノ等

### 【事業概要】

芸術文化活動を支えていくため、都民や民間企業の支援を後押しするとともに、企業で培った経験やスキルを生かしたボランティア活動であるプロボノを増やす取組を推進する。

### 【3年後の目標】

芸術文化活動を支えるための効果的な施策を検討し、事業構築を行う。

### 【2023年度の実績】

アート・プロボノ事業について検討

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
アート・プロボノ等	事業スキームの検討、	実施に向けた準備等	検討を踏まえた事業の展開

# 10-7 TOKASレジデンシー

## 【事業概要】

TOKASレジデンシー又は派遣先の提携機関に一定期間滞在しながら、制作やリサーチを行う機会を提供する。滞在中はオープン・スタジオ等のパブリック・プログラムを通じて、活動の発表を行う。

## 【3年後の目標】

従来のプログラムに、国内のアーティストの創作環境向上や活躍の機会を増やすためのプログラムを加え、アーティストが成長する環境をつくる。

## 【2023年度の実績】

〔レジデンスプログラム〕

- (1) 海外クリエイター招聘プログラム：4名を海外より招聘
- (2) 二国間交流事業：6名を海外へ派遣し、7名を海外より招聘
- (3) リサーチ・レジデンス・プログラム：3名を海外より招聘
- (4) 国内クリエイター制作交流プログラム：2名がレジデンスに滞在
- (5) 芸術文化・国際機関推薦プログラム：海外より2名がレジデンスに滞在

〔キュレーターインレジデンス〕

キュレーター招聘プログラム：6名を海外より招聘

〔国内レジデンス〕

国内若手クリエイター滞在プログラム：2名がレジデンスに滞在

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
TOKASレジデンシー	レジデンスプログラム →	<div style="background-color: #cccccc; padding: 10px; display: inline-block;">                     事業の評価・検証を反映し運用                 </div>	
	キュレーターインレジデンス (滞在活動支援、メンタリング) →		
	国内レジデンス (ネットワーキング、メンタリング、公開発表等) →		
	★ 事業の 評価・検証		

**【事業概要】**

アーティストが活動する上で必要となる稽古場、アトリエ、スタジオ等の利用に係る負担を軽減させることで、継続的な活動を支援する。遊休施設等を活用し、アーティストの創作の場、交流の場として低廉な価格で提供する。

**【3年後の目標】**

多くのアーティスト等が交流し、刺激を受け合うことで創作活動が充実している。

**【2023年度の実績】**

- ・渋谷区に「START Box ササハタハツ」を開設（2023年4月）
- ・港区に「START Box お台場」を開設（2023年11月）
- ・オープンアトリエや文化イベントでの作品展示等を通じて、地域との交流や発表の機会を創出

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
START Boxの運営	運用		→
	更なる環境整備の検討		→
水天宮ピットの貸出運営	継続運営		→
	※工事休館の予定あり (2024年9月～2025年1月)		



# 10-9 東京ライブ・ステージ応援助成

## 【事業概要】

東京に活力ある芸術文化・エンターテインメント環境をとりもどすため、コロナ禍から回復しつつある中小の団体による舞台芸術（演劇、舞踊、音楽等）活動に対する支援を実施する。

## 【3年後の目標】

コロナ禍を乗り越え、都内で様々な芸術文化が創造・発信されている。


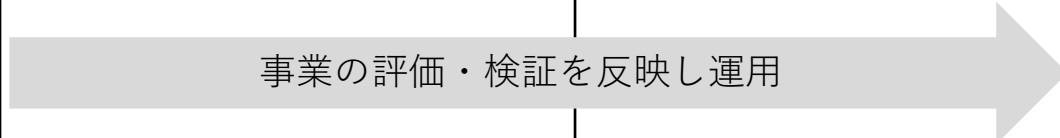
## 【2023年度の実績】 東京ライブ・ステージ応援助成を2回実施

助成上限額：100万円

助成率：1/2

申請受付：【第1期】5月16日(火)～5月31日(水)、【第2期】9月15日(金)～10月11日(水)

採択(申請)件数：【第1期】194(431)件、【第2期】128(256)件

年度	2024年計画	2025年計画	2026年計画
東京ライブ・ステージ応援助成	公募・助成（年2回） 助成事業の実施  ★ 事業の 評価・検証	 事業の評価・検証を反映し運用	